



# あいかわ 議会だより

第 132号

責任者 議会議長 鈴木一之  
年4回発行・本号14ページ



山十郎のいろり

議員提出議案「意見書2件・要望書1件」を可決し関係機関に提出

P4

財産の取得「避難所用防災資機材」を可決

P3

「暴力団排除条例・みんなで守る環境美化のまち条例」を可決

P2

平成24年2月15日

<11月第2回臨時会・12月第4回定例会>

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

平成23年第4回愛川町議会「12月定例会」は、12月1日に開会され、会期16日間（本会議開催日4日間）にわたり開かれまし

た。この定例会では、新設条例制定や補正予算、財産の取得、訴えの提起など、合計12件の町長提出議案を可決しました。

また、11月29日（火）に平成23年第2回愛川町議会臨時会が開かれ、人事院勧告に伴う、職員給与に関する条例の一部改正1件を可決しました。

本号ではこれら「11月第2回臨時会」及び「12月定例会」の内容をお知らせいたします。

# 第2回臨時会

## 条例関係

◎愛川町職員の給与に関する条例等の一部改正

（賛成13人反対2人）

人事院勧告の内容に準拠し、一般職の職員の給与

与改定を行ったもので50

歳台を中心に40歳台以上の給料月額を平均0.2

%引き下げた条例の一部改正を可決したもので

す。

施行期日は平成23年12

月1日

# 第4回定例会

## 新設条例

◎愛川町暴力団排除条例の制定

（賛成全員）

（背景）

平成23年4月に住民や事業者が暴力団排除に積極的な役割を果たすこと

などを定めた「神奈川県暴力団排除条例」が施行

されるなど、全国的に暴力団排除の機運が高まっ

てきました。こうした情勢の中、暴力団排除対策は社会全体

で取り組むことで効果を発揮することから、県条例と連携し、暴力団排除

に関する基本理念や様々な取組みを定めた新たな

条例を可決したものです。

### 【主な条例の概要】

（目的）

暴力団排除に関する基本理念を定め、町の責務及び町民等の役割

を明らかにし、必要な事項を定めることにより、暴力団排除施策を

総合的に推進し、安全

で安心して暮らすことができる社会の実現に資することを目的とする。

（基本理念）

「暴力団を恐れないこと」「暴力団に協力しないこと」「暴力団を利用

しないこと」を基本として町、国、県、他市町村

町民などが相互に連携し協力して暴力団排除を推進していく。

（町の責務）

基本理念にのっとり、暴力団排除に関する施策を実施する。

（町民等の役割）

基本理念にのっとり、暴力団排除に積極的な役

### 平成23年 第2回臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
11	29	火	本 会 議	提出議案の質疑・討論・採決

### 平成23年 第4回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
12	1	木	本 会 議	町長提出議案の説明
	5	月	本 会 議	一般質問（6人）
	6	火	本 会 議	一般質問（7人）
	8	木	総務建設常任委員会	所管事務調査
	9	金	教育民生常任委員会	付託案件の審査
12	15	木	本 会 議	提出議案の質疑・討論・採決
				付託案件の委員長報告質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・質疑・討論・採決 厚木愛甲環境施設組合議会議員補欠選挙

割を果たすよう努める。（施行期日）平成24年4月1日

◎愛川町みんなで守る環境美化のまち条例の制定

（背景）（賛成全員）

・近年、生活形態の変化やモラルの低下、価値観の多様化等により、身近な生活環境に悪影響を及ぼし、かつ、既存の法律

や条例等では対応が困難な迷惑行為が多く見られる状況にあります。

こうしたことから、きれいで住み良い環境のまちづくりを進めるため、町や

町民等の責務をはじめ、「空

き缶等のポイ捨て」や「飼い犬等のふんの放置」などの迷惑行為に対する罰則等を定めた新たな条例を可決したものです。

### 【主な条例の概要】

（町の責務）

・条例の目的を達成するために必要な施策を総合的に計画的に実施します。

・町民等、事業者及び土地所有者等が行う自主的な取組みを支援します。

（町民等の責務）

・環境美化に対する意識を高め、良好な生活環境の確保に努めるとともに町の施策に協力します。

（事業者の責務）

・良好な生活環境を損なう

このないよう必要な措置を講ずるとともに、町の施策に協力します。

**（ポイ捨ての禁止）**

・公共の場所等において空き缶等又は吸い殻等の投棄・放置（ポイ捨て）を禁止します。

**（飼い犬等の適正管理等）**

・飼い犬等が他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼさないよう適正に管理することを義務付けます。

・飼い犬等が公共の場所等でふんをしたときは、そのふんの放置・投棄を禁止します。

・飼い犬等のふんを持ち帰るための道具等の携行を義務付けます。

（施行期日）平成24年4月1日

**補正予算**

◎平成23年度一般会計補正予算（第2号）

（賛成全員）

今回の補正は歳入歳出からそれぞれ1億2千

943万5千円を減額し歳入歳出予算の総額をそれぞれ、117億2千656万5千円としたものです。

主な内容は、子ども手

当ての負担割合の変更に伴う国庫負担金の減額や小児医療費助成事業や住宅用太陽光発電設備設置事業に係る経費です。

◎平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

（賛成全員）

今回の補正は歳入歳出予算の総額にそれぞれ100万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を54億400万5千円としたものです。

主な内容としては、取立訴訟に係る弁護士費用等です。

**財産の取得**

◎避難所用防災資機材

購入

（賛成全員）

町が進めている防災資

機材等の整備の中で、非常食料の確保、避難所の環境整備について重点を置いた避難所用防災資機材5品目を取得したものです。

**名称及び数量**

・サバイバルフーズ 156缶

・防災備蓄毛布 1,540枚

・防災備蓄カーペット 130枚

・避難所用簡易組立の間仕切り 26張

・災害用マンホールトイレ 9台

**取得価格**

1,165万3千320円

**納入者**

相日防災(株)厚木支店

**納入期限**

平成24年3月30日

**訴えの提起**

◎訴えの提起について

（国民健康保険税差押債権取立金請求）4件

（賛成全員）

町税等の滞納金を徴収するために差し押さえた債権（滞納者が第三債務者「消費者金融業者」に対して、利息制限法第1条第1項の所定の利息の制限額を超えて支払った金銭「過払金」の不当利得返還請求権）の取立に対して、第三債務者が支払いに応じないことから、取立訴訟を提起するものです。

**専決処分の報告**

◎専決処分の報告（交通事故に係る損害賠償）

本町の義務に属する損害賠償について地方自治法第180条第1項の規定により専決処分を行い、同条第2項の規定により議会へ報告したものです。

**損害賠償額**

17万4千119円

**選挙管理委員の選挙**

◎選挙管理委員及び同補充員の選挙

地方自治法の規定により、議会において選挙するとされており、1月11日の第1回臨時会において、人格が高潔で政治及び選挙に関し公正な識見を有する次の方々が当選されました。

選挙管理委員 中津 〇中村文夫  
中津 飯田博  
半原 〇佐藤一行  
角田 高橋洋介  
同補充員 春日台 村中修  
半原 村上政樹  
田代 佐藤昭  
角田 榎本重良

なお、同月31日の選挙管理委員会において、委員長及び職務代理者が決



前列:選挙管理委員 左から高橋洋介・中村文夫・佐藤一行・飯田博  
後列:同 補充員 左から榎本重良・佐藤昭・村上政樹・村中修(敬称略)

陳情の審査結果

陳情番号	件名	結論	陳情者
5号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する陳情書	採択 (賛成全員)	横浜市中区日本大通1番地 横浜弁護士会 会長 小島周一
6号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	机上配付	横浜市保土ヶ谷区岩井町218 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 土谷 正明
7号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情	机上配付	愛川町半原287-4 全日本年金者組合愛川年金者の会 会長 黒澤 鍊太郎
8号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円の支給を求める陳情	机上配付	愛川町半原287-4 全日本年金者組合愛川年金者の会 会長 黒澤 鍊太郎
9号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	机上配付	愛川町半原287-4 全日本年金者組合愛川年金者の会 会長 黒澤 鍊太郎
10号	住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	机上配付	横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎15階 神奈川労働局内 全労働省労働組合神奈川支部 公のあり方を問い、福祉国家を考える 神奈川実行委員会 代表者 水谷正人(神奈川労連議長)
11号	厚木愛甲地区に特別支援学校分教室設置についての陳情	採択 (賛成全員)	愛甲郡愛川町春日台4丁目1番地の72 厚木愛甲地区に特別支援学校分教室設置を希望する会 代表 奥園 美夏

※陳情5号・11号は委員長報告に対する賛否

議員提出議案3件

消費者・教育行政に関する意見書  
さがみ縦貫道に関する要望書を可決

議員提出議案として次の3件が提出され、審議の結果、原案のとおり可決し、下記のとおり意見書及び要望書を関係機関に送付しました。

- ◎さがみ縦貫道に関する意見書
- ◎厚木愛甲地区に特別支援学校高等部分教室設置を求める意見書
- ◎さがみ縦貫道路のインターチェンジ名称に関する要望書

さがみ縦貫道路のインターチェンジ名称に関する要望書

要旨

さがみ縦貫道路の(仮称)相模原インターチェンジに「愛川」の地名が入ることを要望いたします。

理由

さがみ縦貫道路は、平成25年度の全区間供用開始を目標に、鋭意整備が進められており、この縦貫道路が整備されることにより、東名高速道路や中央自動車道などの各高速道路とともに広域的なネットワークが形成され、物流の効率化、産業の活性化、並びに周辺住民の利便性の向上など、周辺市町の今後の発展に大きな期待がされるところであります。

本インターチェンジは、地形的な制約により本線の対岸に設置される配置となっておりますことから、本路線が通る本町においては、以前より(仮称)相模原インターチェンジに「愛川」の地名が入ることを熱望する声が多く、こうした声を議会でも再三取り上げており、全町民の悲願であると認識しております。

また、「愛川」の地名を入れていただくことにより、本路線を利用される方々にとりましても、縦貫道路の本線とインターチェンジの位置関係が理解し易いなど、周辺市町の今後のまちづくりに欠かせない「道しるべ」にもなるものと考えております。

そこで愛川町議会では、このような全町民の願いを踏まえ、議会の議決に基づき、要望書を提出するものです。

平成23年12月15日

中日本高速道路株式会社東京支社  
厚木工事事務所長 井口 忠 司 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会  
議長 鈴木 一之

厚木愛甲地区に特別支援学校高等部分教室設置を求める意見書

現在、本町に住む、知的障害のある児童・生徒は、相模原市・座間市・伊勢原市にある特別支援学校に通学しています。

特に、特別支援学校高等部においては、自力通学が求められますが、一人では通学困難な生徒の保護者は、付添が日課となり負担が多くなっています。

また、保護者の病気などにより、児童・生徒は元気で学校を欠席しなければならない現状があります。

厚木愛甲地区に特別支援学校高等部の分教室が設置されれば、保護者の通学介助に費やす時間が短縮され、心と体にゆとりが生じます。また、自力通学が可能となります。

さらに、小中学校で共に学んだ友友と同じ学校に通学できることで助け合い、共に生きるという教育を進めることが可能となります。

よって、県におかれては、次の事項について実現されるよう強く要望します。

- 1 厚木愛甲地区に特別支援学校高等部分教室を設置すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年12月15日

神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会  
議長 鈴木 一之

地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書

現在、国による地方消費者行政の充実策が検討されているが、一方で地域主権改革の議論が進む中、地方消費者行政に対する国の役割、責任が不明確になることが懸念される。

もとより、地方自治体が独自の工夫・努力により消費者行政を充実させることは当然であるが、消費者行政に対する地方自治体の意識や体制に格差がある。

現在、国からの支援として、地方消費者行政活性化交付金や住民生活に光を注ぐ交付金が存在するが、いずれも期間限定の支援にとどまっており、相談員や正規職員の増員による人的体制強化等継続的な経費への活用には、おのずと限界があり、国は地方消費者行政充実のために継続的かつ実効的な財政支援を行うべきである。

よって、地方消費者行政の支援について次の事項について、特段の措置を講じられるよう要請する。

- 1 地方自治体の消費者行政の充実につながるよう、継続的かつ実効的な財政支援を行うこと。
- 2 すべての地方自治体が身近で専門性の高い消費生活相談窓口を消費者に提供するため、都道府県と市町村が広域的に連携して相談窓口を設置する方策など、地方自治体が利用しやすい制度の枠組みを提示すること。
- 3 消費者が安心して相談できる消費生活相談窓口の充実、強化を図るため、相談員が専門性に見合った待遇のもとで安心して勤務できる専門職任用制度を行うこと。  
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年12月15日

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣  
財務大臣・総務大臣・消費者担当大臣 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会  
議長 鈴木 一之

### 会派 議決一覧表 (平成23年第2回臨時会)

各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政 (4人) 小倉議員 鳥羽議員 熊坂弘久議員 玉利議員	あいかわ (3人) 馬場議員 鈴木議員 渡辺議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	公明 (2人) 井出議員 佐藤りえ議員	支えあう街 ・みんなの会 (2人) 木下議員 熊坂崇徳議員	佐藤茂議員	議決結果
町長提出 第70号	愛川町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	○	○	可決

※議長は表決には加わりません。

### 会派 議決一覧表 (平成23年第4回定例会)

各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政 (4人) 小倉議員 鳥羽議員 熊坂弘久議員 玉利議員	あいかわ (3人) 馬場議員 鈴木議員 渡辺議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	公明 (2人) 井出議員 佐藤りえ議員	支えあう街 ・みんなの会 (2人) 木下議員 熊坂崇徳議員	佐藤茂議員	議決結果
議員提出 第10号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出 第11号	厚木愛甲地区に特別支援学校高等部分教室設置を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出 第12号	さがみ縦貫道路のインターチェンジ名称に関する要望書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第71号	愛川町暴力団排除条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第72号	愛川町みんなで守る環境美化のまち条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第73号	愛川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第74号	愛川町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第75号	平成23年度 愛川町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第76号	平成23年度 愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第77号	平成23年度 愛川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第78号	財産の取得について(避難所用防災資機材購入)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第79号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第80号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第81号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第82号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 第5号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 第6号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	—	—	—	—	—	—	—	机上配付
陳情 第7号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情	—	—	—	—	—	—	—	机上配付
陳情 第8号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円の支給を求める陳情	—	—	—	—	—	—	—	机上配付
陳情 第9号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	—	—	—	—	—	—	—	机上配付
陳情 第10号	住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	—	—	—	—	—	—	—	机上配付
陳情 第11号	厚木愛甲地区に特別支援学校分教室設置についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	採択

※陳情第5号・11号は委員長報告に対する賛否  
※議長は表決には加わりません。

# こいは どっちな？

## 一般質問



### 広域避難場所の 運営委員会の状況

渡辺 基議員

**問** 東日本大震災の教訓から組織された広域避難場所の運営委員会の状況について伺います。

### 今年度末を目途に マニュアルを作成

町長 町内13箇所に指定している広域避難所ごとに地域住民・施設管理者・行政を中心とした避難所運営委員会を本年8月に組織しました。

これまで2・3回の検討会を開催し、今後の検討会議では、年度末を目途に広域避難所ごとのマニュアルを作成します。

### あり方検討委員会 次年度への反映

**問** 今年度、新たな協働の仕組みづくりとして協働のあり方検討委員会が組織され、提言がなされましたが、次年度への反映について伺います。

### アダプト制度も 早期に試行・検討

町長 提案型協働事業の導入については、細かいルールづくりが必要となることから、検討会を立ち上げワークショップのような方法で、具体的な検討を進め、できるだけ早期に事業化を図ります。また、アダプト制度についても、できるだけ早期に試行などの方法を検討していきます。

他の質問事項なし



### 住宅リフォーム 助成制度導入の考え

小林 敬子議員

**問** 住宅リフォーム助成制度は4月現在330自治体に加え、昨年10月末時点の175自治体から2倍近く増えていきます。本町でも経済効果の大きい住宅リフォーム助成制度の導入を求めますが、町長の考えを伺います。

### 現制度を勘案 調査研究

町長 各種制度や住宅工コポイント制度の活用・利用状況等を勘案した中で、引き続き調査研究をしていきたいと考えています。

### 私立幼稚園 障害児への補助金引き上げ

**問** 今年度から本町でも私立幼稚園に対しい障害児への補助を開始しましたが、1人月1万円では、県の補助金を含めても足りません。そこで補助金引き上げの考えについて伺います。

### 昨年より655万増 現時点では増額困難

町長 私立幼稚園に関する補助金の総額は5千464万8千円となっております。平成22年度の4千

809万7千円と比較して655万1千円の増となっております。このようなか、現在、平成24年度の予算編成に着手しているところですが、長引く景気低迷により町の税収に大きな期待ができないなど、町の財政事情は依然として厳しく、現時点では補助金額の引き上げは難しいものと考えています。

他の質問事項①小児医療費助成の拡大



町長 メガソーラーは私からも知事に直接お願いをし、先般、副知事や企業庁長らに現地確認して頂いたところです。県では14か所に絞り込み、今年度末までには設置場所を公表したいとし、旧県警グラウンドは有力候補地と聞き及んでいます。

### 旧県警グラウンド メガの有力候補地

**問** 3・11以降、原子力に頼らない新産業への転換が動き出していますが、太陽光エネルギー推進について伺います。

## 太陽光エネルギー 推進状況について



山中 正樹議員

町長 情報共有の為に主  
な取り組みとして、幼保  
小連絡協議会の開催、臨  
床心理士の派遣、支援シ  
ートの作成等を行っており

### 支援シート作成等 審議終了後は破棄

**問** 幼保小の連携の中  
で就学前児童の軽度  
な障害に関する情報伝  
達について、また、就  
学相談前に幼稚園に渡  
している書類の取り扱  
いについて考えを伺い  
ます。

## 幼保小の連携 就学前の障害児情報の伝達



メガソーラー発電所が計画されている旧県警グラウンド

ます。  
教育長 書類は就学指導  
委員会です。審議終了後  
資料であり、審議終了後  
は破棄をします。  
教育次長 就学相談への  
参加の有無や委員会での  
答申、通常級・特別支援  
学級のどちらでスタート  
するかといったことは個  
人情報ですので、就学指  
導委員会として幼稚園、  
学校法人にフィードバッ  
クはしていません。  
他の質問事項なし

## 宮沢川左岸の町道 事業の進捗状況



小倉 英嗣議員

町長 21年度に調査を行  
い地権者の同意が得られ  
ましたので、事業化に向  
けて取り組んでいます。  
本年度は測量を行って  
おり24年度に用地取得を  
して25年度からの工事を  
予定しています。

### 24年度は用地取得 25年度に工事予定

**問** 以前から拡幅改良  
を要請してきた両向  
宮沢川左岸上の町道は、  
狭いうえに道路側溝も  
無く、大雨による土砂  
災害の高い地域です。  
進捗状況を伺います。

**問** 中細野深沢に架か  
る通称「板橋」は、  
欄干部や橋の付け根に  
亀裂が入っており、老  
朽化による強度不足が  
心配されますが、架け  
替えに向けての取り組  
みを伺います。

## 中細野「板橋」の架替え望む



中細野橋下の「板橋」

### 必要性ないと認識 安全性は確保

町長 建設後40年から50

年経過しているコンクリ  
ト製の「板橋」は通常点  
検では架け替えの必要  
性は無いと認識してい  
ますが、適切な維持管  
理を行い長寿命化と利  
用者の安全確保に努  
めていきます。  
他の質問事項①町営  
水道水不足地域解消  
②土砂災害防止対策



## 観光産業の充実・活性化

熊坂 弘久議員

**問** 町税収入の減少する中で観光産業の充実、活性化をどうするのか伺います。

### エコツーリズム推進「あいちゃん」を活用

町長 観光振興については、町の豊かな自然と宮ヶ瀬ダムやあいかわ公園また、景勝10選である三増合戦場、山十郎、八菅神社等、観光ルートの形成やエコツーリズムを推進していきます。また、マスコットキャラクター「あいちゃん」を大いに活用していきます。



(仮) 相模原 I C 付近のさがみ縦貫道路

### さがみ縦貫道路

## インターに「愛川」の名称

**問** 相模原市当麻にできる I C に「愛川」の名称はつくのか、その可能性について伺います。

### 関係機関等に要請引続き働きかける

町長 名称決定は中日本高速道路(株)が名称の素案を検討し、県、相模原市、厚木市、愛川町に對し意見照会がされます。その意見を参考にして道路標識適正化委員会神奈

川県部会に諮り検討後、正式決定されます。そこで、名称の素案を作成する中日本高速道路(株)や相模原市、厚木市の両市長に直接会い、依頼文書とともに協力をお願いをし、理解をいただいています。開通1年前に設置される道路標識適正化委員会神奈川県部会で「愛川」の名称が入るよう、引き続き働きかけをしていきます。他の質問事項①町道幣山下平線



## 愛川町山田町長の「想い」を知りたい

玉利 優議員

**問** 山田町長自身が町長を、あるいは愛川町の長所短所を、ご自身をどう思っているのか伺います。

### やはり最大の悩みは交通アクセスの悪さ

町長 私は常に、清潔、誠実、公正を政治信条とし、責任を肝に銘し、リーダーとして、今、何をすべきか心血を注いでいます。本町は豊かな自然環境と公害のない工業団地が調和する素晴らしい町ですが、交通アクセスでは今後、改善が必要と認識しています。



## 中学校の学力評価の課題

**問** 学力評価は公正かどうかその評価の目的と課題を伺います。

### 評価の改善に一丸努力中

教育長 評価の目的ですが、生徒にとって自らの学習状況に気づき、学習や発達、成長が促される契機とすること、また、結果を指導に生かし、教育水準の維持向上に役立て指導のあり方を見直す

ことです。

評価は公正かということですが、国や県からの参考資料に基づき、評価基準、評価場面、評価方法を毎年見直して公正な評価をしています。

学習評価の課題としては評価方法、評価場面の工夫などが課題ですが、その改善策として各校の校内研究会、教科担当者会、職員会議などで適切な評価に努めています。他の質問事項なし



町長 地方自治を取り巻く情勢は、課題が複雑かつ多様化しています。提言書は町民活動団体などと良きパートナーとして連携するなど、協働の基本的方針が盛り込まれていることから、行政運営に反映させる考えです。

### 活動団体と連携 行政運営に反映

**問** 協働事業は地方行政にあって大きな位置付けとなることは明白です。協働のあり方検討委員会からの提言書を町はどう受け止めたか伺います。

協働の検討委員会  
提言書の受止め方



佐藤 茂議員

町長 県道54号相模原愛川線は、町内における主

### 現状は十分認識 県に強く要望

**問** 県道54号、梅沢坂は交通量が多いにも関わらず歩道が途切れ、道路幅も狭く自転車、歩行者にとって大変危険な状態が長く続いています。町内外からも改善要求の声を多数聞かれています。町はどういう認識を持っていますか伺います。

### 梅沢坂急カーブ早期改善



梅沢坂の急カーブ

要な幹線道路として位置付けられ、箕輪から梅沢坂までの区間は歩道が未整備であり、急カーブでもある事から早期の改良整備が必要であると認識しています。また、梅沢バイパス事業がありましたが、平成10年度以降県においても、大変厳しい財政状況となり、事業が休止されていますが、引き続き、強く要望していきます。

他の質問事項なし

### 需要電力・料金とも 削減目標上回る

**問** 東日本大震災後の節電の取り組みに伴う節減効果について伺います。

震災後の節電  
節減効果は



小島 総一郎議員



平山坂下交差点付近

町長 交差点改良の進捗状況ですが、県道では計画延長280mのうち、歩道整備も含め130mが完了しており、国道では車線が拡幅となる部分

### 計画の半分完了 残り国道との取付

**問** 県道54号線平山坂下交差点の改良事業における進捗状況と今後の予定を伺います。

### 平山坂下交差点進捗と今後

の擁壁工60mが整備されています。今後の計画についてですが、国道では移設する交差点やバスレーンを含めた160mの間、県道では一部用地の取得が完了していない箇所も含め歩道の設置や国道との取りつけ部分として80mの区間の整備を進めると聞いています。他の質問事項①愛川町観光キャラクター



## 歩行者にやさしい 安全な道路整備

木下 眞樹子議員

**問** 歩行者にやさしく、自転車や車いすが安全な道路整備について伺います。

### 公共施設の周辺など 今後計画的に進める

町長 本町全体で歩道が整備されている道路は70路線を超えています。

今後も通学路や公共施設の周辺など利用者の多い箇所を優先に、歩行者が安全で使いやすい道路整備を計画的に進めていきたいと考えています。

## 町長の職員教育と絆

**問** 町長は職員をどのように育ててきたか、また職員との間で築き上げた信頼の絆について伺います。

### 全体の奉仕者たれ チームとして信頼

町長 町職員には常に公務員の原点である全体の奉仕者の立場に立って、自分を厳しく律し、町民生活を支え、元気で活力ある町をつくり上げていく話をしています。

幸いにして、本町職員は日々直面する様々な課題に対して、私を含め一つのチームとして、共通認識を持って、最善の対処ができるだけの資質を備えているものと確信し信頼をしています。

今後も「人に気配り、財布に目配り、未来に夢配り」を旨として行政資源を有効活用し、行政運営に取り組んでいきたいと考えています。

他の質問事項①自然エネルギー



中津228号線の歩道整備工事



## 円滑な投票のため 施設整備の取組み

井出 一己議員

**問** 改正法では障害者は制度や慣行のため、社会生活に制限を受けるものとする定義を追加し、さらに円滑な投票のための投票所の整備が盛り込まれましたが、本町の取り組みについて伺います。

### 見直しは動向注視 制度変更を要望

町長 投票所の見直しは有権者の動向を見て検討し、バリアフリー化などの配慮をしています。制度については郵便投票の要件緩和や宣誓書の廃止を県選管に要望します。



洪水ハザードマップ

## 土砂災害に対する意識向上

**問** 土砂災害防止法では、土砂災害に対する関心、理解及び意識の向上を図ることが義務付けられています。本町の取り組みについて伺います。

### ハザードマップ配布 今後も方策を研究

町長 土砂災害防止法により、危険渓流地域の指定箇所が広がり、現在、土砂災害の警戒区域等の説明会を実施しています。

また、平成20年に県が示した浸水想定区域図を基に避難場所や避難準備情報、避難勧告などの発令基準を表示した洪水ハザードマップを製作し、浸水想定区域内の全世帯に配布して周知しています。

今後は避難訓練、防災講話など住民の意識行動力を高める方策を研究していきます。他の質問事項①子育て支援について

町長 被災者の精神的な不安を取り除く為に、テレビによる情報提供が有効です。広域避難所への地上デジタル放送の受信設備の整備については平成24年度に係経費を計上することとしています。

### 平成24年度予算 関係経費を計上

**問** 広域避難所で災害情報を得る為のテレビ設備がありません。平成20年9月議会の質問で早期導入を要請しましたが、まだ整備されていません。早期の対応を求めます。

## 広域避難所に テレビ設備を



井上 博明議員

### 放射能対策

## 側溝・砂場・給食食材の測定

**問** 放射能対策で排水溝・側溝・砂場などの測定と給食食材の放射能測定の実施と公表の取り組みを伺います。

## 高精度の測定器 検査実施を検討

町長 簡易測定器により側溝や雨どい下の排水溝の測定を実施しました。国の目標値を超える数値は示されなかったが、よ

り精度の高い測定器による調査が望ましいことから測定器の発注をしており納品後、即、再度測定することとしています。

現在、給食食材の放射能検査の実施に向けた検討を進めています。他の質問事項①学校教育について



## 投票率の低下 要因の分析



熊坂 崇徳議員

**問** 平成23年10月9日執行の町議会議員選挙において48・96%と低い投票率でした。投票率の低下についてどのようなとらえているのか伺います。

## 政治不信と無関心 若年層の意識低下

町長 政治への無関心、不信感を持つ人の増加や若年層の政治意識の低下が投票率低下の一因となっています。本町では愛川町明るい選挙推進協議会を中心に政治意識の高揚と啓発活動を展開しています。

## 企業誘致と雇用対策

**問** 景気低迷の中で、本町においても企業の撤退や規模を縮小して働く場所がなく若者の生活が安定していません。本町の企業誘致の取り組みと雇用対策について伺います。

## 誘致条例を制定

## 就労相談会の実施

町長 本町では立地企業に対する優遇措置として固定資産税及び都市計画税の軽減と、新たに町民

を雇用した場合における雇用奨励金の交付などを規定した企業誘致条例を制定し企業誘致と産業振興に努めています。雇用対策については、就職を希望する町民を対象としたハローワーク就労相談会を実施しています。また、毎年開催されている企業の合同就職説明会開催の周知チラシの配架支援などを行っています。他の質問事項なし





## 自転車の事故増加 道路整備と対策

佐藤 りえ議員

### 問

昨年の自転車関連事故は、全国で15万件を超えており5年前に比べると約9倍に増えています。そこで、本町における道路の整備を含めた自転車対策について伺います。

## 路側線の設置 環境向上に努力

町長 自転車、歩行者道の整備や通過車両の速度抑制、路側線を設けるなどの対策を実施し、安全・安心な町づくりを念頭に自転車の通行環境整備に努めたいと考えています。

## うつ病の防止対策

### 問

今や国民病とも言われる「うつ病」は有病者数が約250万人とも推測され、高止まりする自殺の大きな要因でもあります。そこで、うつ病対策に本町はどのように取り組んでいるか伺います。

## 知識の普及が重要 啓発と相談に努める

町長 心の健康づくりや自殺予防対策として「うつ病」に対する知識の普及は大変重要であること



から、啓発事業として講演会の実施、町広報紙や一部の町共用封筒に相談機関を掲載している他、庁内連絡会議を設置し、現状の把握や事業展開について協議を行ってまいります。また、相談機関へ橋渡し役となる人材育成の為のこころのサポーター養成講座も開催しています。今後も地域住民や関連機関と連携を図り正しい知識の普及啓発と相談活動に努めていきます。他の質問事項なし

## 2 常任委員会 1 月 所管 事務 調査

地方分権の進展に伴い

行政が行う事務が専門かつ複雑化している中、各

常任委員会が所管する事務事業について、専門分野ごとに調査をし、現状の把握や疑問点の理解を深めるため、次のとおり所管事務調査を実施しました。

### 総務建設常任委員会

現地調査

○IP電話・携帯電話発信位置情報通知システム

### 教育民生常任委員会

事業説明

○国保事業について

現地調査

○ICT授業について  
(中津第二小学校)



本町の財政状況を調査  
(総務建設常任委員会)



「グループホーム・小規模多機能あいかわ」視察  
(教育民生常任委員会)

○消防団第3分団第1部  
器具倉庫建設工事について

○菅原児童クラブ  
(菅原小学校)

○財政分析に関する調査  
について

○グループホーム・小規模多機能あいかわ  
○かわせみ広場  
(上熊坂東公民館)

○町税収入の推移と収納  
対策について

# 県・町議員研修会

## 神奈川県町村 議会議員研修会

平成23年11月25日に箱

根町立仙石原公民館（仙石原文化センター）において神奈川県町村議会議長会主催による、町村議会議員研修会が次のとおり開催されました。

講師

防災・危機管理ジャーナリスト  
渡辺 実氏

演題

「東日本大震災に学ぶ」

## 愛川町議会 議員研修会

平成24年2月13日に役

場4階会議室において町議会議員研修会を次のとおり開催しました。

講師

NPO法人多摩住民自治研究所理事長  
大和田 一紘氏

研修内容

「よく分かる市町村財政  
～愛川町の財政分析～」



県町村議会議員研修会

## 議会基本条例に基づき 住民との意見交換会を開催します。

議会では、昨年7月1日に施行しました「愛川町議会基本条例」に基づき、「広く住民の声を聴く議会」「町民とともに歩む議会」「町民参加を基本とする開かれた議会」を目指し、その一環として住民と議会との意見交換会を次の予定で開催しますので、ご参加ください。

現在では、議会運営委員会を月1回のペースで開催し、意見交換会に向けて内容の検討を行っています。

### 【日時・場所】

- ・5月12日（土）  
午後1時30分から  
ラビンプラザ（半原公民館）2階会議室
- ・5月13日（日）  
午後1時30分から  
文化会館3階大会議室
- ・5月20日（日）  
午後1時30分から  
レディースプラザ（中津公民館）3階プレイ  
ルーム

## お知らせ

### 会派構成の変更

玉利優議員が平成23年12月16日付で会派「愛政クラブ」から脱退しました。

厚木愛甲環境施設組合議会議員の補欠選挙

平成23年12月8日に玉利優議員が厚木愛甲環境施設組合議会議員を辞職したため12月定例会最終日に当組合議会議員の補欠選挙を行いました。

その結果、山中正樹議員が補欠選挙に当選しました。

議会審議の様子を録画配信しています。

視聴に当たっては、

「愛川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。

愛川町議会  
ホームページアドレス  
<http://www.town.aika.wa.kanagawa.jp/assembly/index.html>

http://www.town.aika.wa.kanagawa.jp/assembly/index.html

# 町民の声

## 大規模災害の備え



荻沢 貴裕 さん

(中津在住)

もうすぐ東日本大震災から早くも一年になりますね。先ずは被害に遭われた方への哀悼を捧げ、被災地域の日も早い復興を心より祈りたいと思います。

皆さんのご家庭では、「大規模災害」への対策は整っていらつしやるでしょうか？ライフラインが絶たれてしまった時、どのような生活をするかイメージは出来ていますか？

食料や燃料、防寒対策や発電機など必要になるであろう物資は多く、保管場所などまだまだ対策にお困りの方も多いと思います。

また、ご近所様とのコミュニケーションも災害時にはとても重要な事になります。物資などは行政からの支給があるでしょうが、助け合い譲り合う秩序は一朝一夕で出来る物ではありません。

愛川町には外国籍の方も沢山住んでおり、日常でコミュニケーションが無いと言葉や文化などで混乱を引き起こす可能性があります。

日頃から地域社会に広く目を向ける事も1つの備えとして大切な事だと思います。行政と一緒に街づくりを実現していきましょう。

### 編集後記

昨年の12月定例会より新体制が始まった議会。16名中13名の議員による一般質問には多くの傍聴者が来て下さいました。

こうした変化の息吹をダイレクトに伝えるため、本委員会は様々な工夫を凝らし読みやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

### 次回定例会

次回、3月定例会は下表のとおりです。本会議はいつでも午前9時から開会します。

また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、2月21日(火)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。町ホームページ

### 平成24年 第1回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名
3	1	木	本会議(施政方針・提出議案の説明)
	2	金	本会議(一般質問)
	5	月	本会議(一般質問)
	8	木	本会議(個人総括質疑)
	12	月	本会議(会派代表質問)
	13	火	総務建設常任委員会・教育民生常任委員会
	14	水	総務建設常任委員会
	15	木	教育民生常任委員会
	16	金	総務建設常任委員会
	19	月	教育民生常任委員会
	22	木	総務建設常任委員会
	28	水	本会議(委員長報告・討論・採決)
	29	木	(予備日)

ページでもご覧になれます。

### ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、12月定例会の会議録は、3月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

### 施設設置録

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障害者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)

- 議会だより編集委員会
- 委員長 小林 敬子
  - 副委員長 渡辺 基
  - 委員 佐藤 茂
  - 委員 佐藤 りえ
  - 委員 熊坂 崇徳
  - 委員 玉利 優
  - 委員 馬場 清
  - 委員 鳥羽 清